低身長の子どもの診察・検査の手順

病歴：家族歴（両親の身長や思春期のことなど）
新生児期（骨盤位、仮死、未熟児など）
知能発達（学業成績）　家庭環境　成長の記録

診察：全身的診察で異常がないか

検査：血液検査（一般、甲状腺ホルモン、IGF-Ⅰ,性ホルモンなど）
尿検査・レントゲン検査（骨年齢）

↓

成長ホルモンの欠乏の疑いが

無し　　有り

他の病気の治療。成長ホルモンが使える病気

治療不必要

成長ホルモン刺激試験（1回目）＊
別の成長ホルモン刺激試験（２回目）＊

１つが正常・１つが異常の場合

２つとも正常

別の成長ホルモン刺激試験（３回目）＊

２つが異常

２つが正常

頭部CT,MRI検査

正常

異常→脳外科

「成長ホルモン分泌不全性低身長症」

成長ホルモン治療

原発性小人症
体質性小人症

経過観察

＊外来で２～３時間の検査

（2021.2.25改訂）

Inomata Children's Clinic